

愛護センターだより

発行: 敦賀市少年愛護センター

住所: 敦賀市東洋町1番1号

電話: 0770-23-0189 Fax: 0770-23-0523

『青少年健全育成都市宣言』 都市: 敦賀市

テレビよりも…

昨年末に盛り上がったサッカーFIFAワールドカップ カタール大会。日本チームの活躍は記憶に新しいところ。午前0時や午前4時からの生中継を見て、現地の人達と同じく興奮を味わった方も多いことでしょう。ところで、この時の生中継。これまでは、テレビ視聴がほとんどで、サッカーのワールドカップ日本戦では40%を下回ることはないとのことでしたが、NHKが生中継した日本-ドイツ戦の平均世帯視聴率は35.3%で衝撃的な数字だそう。代わって、インターネット放送局「ABEMA」の視聴者数は1000万を超え、過去最高。日本チームのプレーに関心がなくなったのではなく、視聴方法が変わりつつあるようです。

NTTドコモ モバイル社会研究所が、2021年11月に実施した「子どもの動画視聴」に関する調査結果（小学生および中学生（親による回答含む）500人）を12月に発表しています。

「YouTubeとテレビ番組を比較し、どちらをよく見ているか」という質問では、小学生はテレビ視聴がわずかに多めですが、中学生になるとYouTubeがテレビ番組を大きく上回っています。中学生になると小学生よりもYouTubeを自由に視聴できる環境になり、どちらでも視聴できる環境になれば子ども達はYouTubeを選ぶということなのでしょう。子ども達が視聴したいものは、YouTubeに多い…ということでしょうか。

また、小学生は1日2時間以上YouTubeを視聴している子どもが19%、テレビ視聴が22%。中学生は1日2時間以上YouTubeを視聴している子どもが29%、テレビ視聴が16%。

2~3割の子ども達が毎日2時間以上YouTubeを視聴しており、これにゲームやSNS利用等の時間を加えると、かなりの時間インターネットを利用していることとなります。

家族でテレビを見ながら会話を弾ませ楽しく過ごしていた時代から、家の中で一人一人が手元を見ながら過ごす時代になってきています。家族団らんにも、これまでにない工夫が必要な時代です。子ども達のために、それぞれの家庭に合った形を作り上げることが必要です。



収入が少ない家庭の子ほど体力や運動能力が低い

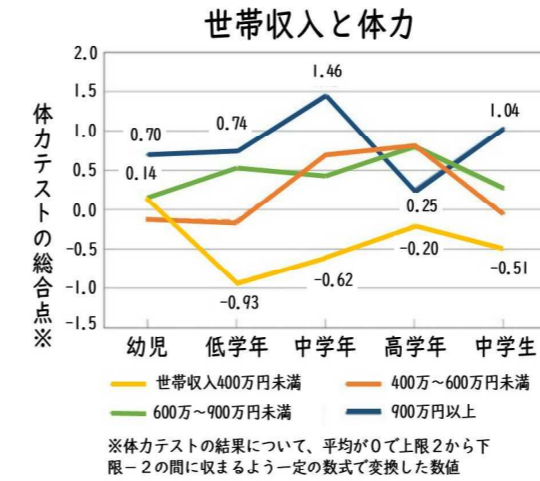
令和4年12月21日に、文部科学省の調査（1994年度から2年に1度実施。公立の幼稚園から高校に子どもを通わせる保護者約2万7千人の回答）から「公立の小中学生と、私立の小中高生の授業料や修学旅行費、学校納付金、塾などにかかった『学習費』が令和3年度過去最高になった」と公表されました。コロナ禍の影響で修学旅行費等は減ったものの、新型コロナ感染拡大で学校の授業が制限された分を塾や通信教育で補ったことで支出が増えたことが考えられるそうです。

| | 公立の年間平均学習費 | | 私立の年間平均学習費 | |
|-----|------------|---------|------------|-----------|
| | 今回 | 前回 | 今回 | 前回 |
| 幼稚園 | 165,126 | 223,647 | 308,909 | 527,916 |
| 小学校 | 352,566 | 321,281 | 1,666,949 | 1,598,691 |
| 中学校 | 538,799 | 488,397 | 1,436,353 | 1,406,433 |
| 高校 | 512,971 | 457,380 | 1,054,444 | 969,911 |

また、幼稚園から高校まで全て公立校に通った場合の学習費の総額は574万円。全て私立の場合の総額が1838万円で、全て公立の場合の3.2倍となるとのこと。

子どもの教育にはお金がかかりますが、令和4年9月に筑波大体育系の清水紀宏教授（スポーツ経営学）が気になる調査結果を発表しています。それは、「経済的に豊かな家庭の子の方が、低収入の家庭の子よりも体力テストの総合点が高い」というもの。

これまで、収入が少ないと学習環境…家にある図書冊数、文化施設等での体験、通塾等の学習機会等…を子どもに提供しにくかったり、子どもといっしょに過ごす機会が取りにくかったり、学力に大きく関係するという報告はありました。しかし、体力や運動能力、



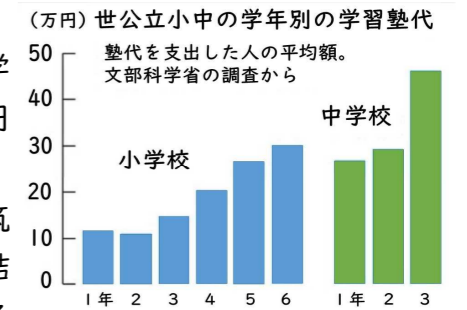
さらに学校生活全般の豊かさにも大きく影響していた…というわけですから深刻な問題です。

調査は、2018年に岐阜県多治見市が協力し、公立の幼稚園と保育園・小中学校の子どもたちの体力データと保護者用や小5~中3の子どものアンケートから導き出されたもの。結果をまとめたグラフを見てみると、特に世帯収入400万円未満の子どもの体力の低さは深刻のようです。また、学力の低い子は体力・運動能力も低い傾向があり、学年が上がるにつれて格差が拡大していく…ということも。

さらに、スポーツが不得意な子や、体力が相対的に低い子どもたちは、学校生活への満足度が低く、休み時間はひとりぼっちで過ごす傾向が強いことも報告されています。

今、子どもが気軽に自由に体を動かして遊べる場所がとても少なくなっています。そのためスポーツをしたいと思えば、スポーツ少年団のような指導者がいるクラブに所属しなければなりません。そうすると、練習当番など家庭の負担が増えて、経済的・時間的余裕のある家庭の子どもだけがクラブに参加できるようになって…ということでしょう。

スポーツは体力だけでなく、技術の習得や作戦の工夫など知的な側面、スポーツマンシップなどの道徳性も高められ、総合的な人間性を育むことができます。所得に関係なく、子ども達がスポーツ活動に取り組める環境を作らなければなりません。



小中高生の摂食障害急増

2022年10月に日本摂食障害学会による調査で、神経性やせ症の小・中・高校生の新規患者が2020、21年に急増し、新型コロナウイルス禍前の19年と比べ21年は1.58～2.10倍となったことが分かりました。

対象となった28医療機関のデータでは、小学生で19年が初診患者数の合計が21人なのに対し21年は41人（21年は19年の2.10倍）。中学生は76人が147人（同1.93倍）。高校生は85人が134人（同1.63倍）。30代、40代は顕著な増加が見られなかったそうです。

神経性やせ症の原因について、以前は「母子関係」を挙げることが多かったようですが、今はダイエットがきっかけであったり、職場・学校のストレス、対人関係のストレス、親子関係等さまざまなことがきっかけとなると言われています。

コロナ禍の影響として「自粛生活で太った気がして発症前にダイエットをした」「家庭で過ごす時間が増えたり、対人関係が制限されてストレスがたまったり、コロナ禍の影響があったと見られるケースの割合を見ると、21年は小学生25.0%、中学生が32.7%、高校生が32.1%、20代が24.2%で学齢期の子どもの方が割合が高い傾向が見られたという報告もありました。

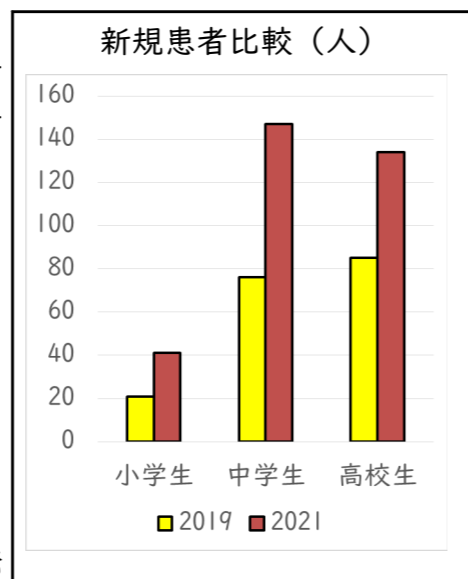


また、摂食障害は「自分に厳しい人」がかかりやすいとされ、自分を責めやすい人に多いといわれています。さらに、自分に否があるという思いから、なかなか人に相談できず、重症化してしまうことが多いそうです。

さらに、神経性やせ症は体重増加への恐怖から食事量を減らし、極端にやせて低血圧などの症状が出るだけでなく、自尊心が低くなったり、精神的に辛い思いをしたり、自覚症状がなかったり。さらに、鬱を伴うこともあり、放置すれば衰弱死や自殺に至る恐れもあります。過食なども含む摂食障害の国内の患者は24万人以上と推計され、敦賀市内の学校でも、この摂食障害の治療に取り組んでいる子ども達はいます。

コロナ禍で大きく生活が変わったことによって、子ども達に一層のストレスがかかっています。成長著しい子ども達の貴重な3年間を奪ったコロナ禍。この3年間を取り戻すためにも、これまで以上に一つ一つの体験・関わりを大切にしていかなければなりません。

摂食障害は食事に対する指導とともに、原因となる心の部分の指導を併行することで治療できる病気です。まずは、周りが子どもの様子に目を配り、早期発見が大切です。子どもをよく見て、話をしっかりと受け止め、豊かな体験の機会を準備し、温かな心の交流ができるよう子ども達を支え、寄り添い、見守っていきましょう。



青少年への愛のひと声活動……補導日誌から

○2月17日（金）15:00～17:00

ちえなみきで店員さんへ「何かありますか？」とお聞きしたら「実はオープン当初から来ている児童達のマナーが悪くて困っています」とのこと。学校からの宿題をしているのか、2階の通路等で他の人の邪魔になるくらい道具を広げたり、最近では芝生の所でサッカーを始めるようになりガラス戸に当てたりと大変迷惑をしているようです。「何とかならないですかね」ということでした。



○2月20日（月）15:00～17:00

ちえなみきで「男子中学生4人が夕方6時頃に来て、閲覧席に座り、ライターを付けている。危ないので注意するが止めない。困っている。どうしたらいいのか」と相談された。

→補導員さんからの気になる情報については、小中学校生徒指導部に報告をしています。これらの件もすぐに連絡し、公共の場所でのマナー指導をお願いしました。対象者が特定できる場合は、直接指導してもらっています。また、補導員は取り締まりをするわけではないので、目に余るようであれば警察に連絡するように店員さんに連絡しました。

○2月28日（火）18:35～20:35

MEGAドン・キホーテUNY敦賀店内のガチャ機の台数がどんどん増えているように感じます。200円・300円ではなく、1000円・2000円のガチャも出てきました。子ども達にとっては高額なので、気をつけていただきたいです。



○3月3日（金）17:00～19:00

ちえなみきで、高校生のマナーが悪く困っていると言われた。ソファを動かして寝そべったり、大声で話したりしているとのこと。事実、この日もたくさん的高校生が2階で勉強している一方、幼児向けのおもちゃが置いてあるコーナーで、女子高生が大声で騒ぎながらおもちゃでゲームをしていたので、声をかけた。これだけ大勢の高校生が、自分達の学校にいる時と同じ様子で利用していると、他の利用者は使いづらだろうと思った。同様のことはオルパーク2階でも言え、学校の自習室のような状態であった。

○3月7日（火）17:00～19:00

ottaの芝生広場で高校生がバレーボールやキャッチボールをする姿を見かけた。しかし、あそこの広場は、さほど広いわけではないのでボールを使うような遊びは止めた方がよいと思う。というより、あの芝生広場は街中の公園とは違う性質のもだということ子ども達に理解させていく必要があるように感じる。

→市都市政策課に確認したところ、「周りの人の邪魔になったり、迷惑をかけたりしないような遊び方をお願いしており、現段階では遊びに制限をする予定はない」とのことでした。ただ、お店の方から制限についての意見もあるそうで、「状況をみている」ということでした。これまで通り、公共の場としてマナー良く使用する指導をお願いします。

